



詳細についてはこちら

ビジネスでも選ばれる頼もしいパートナー

N-BOX

N-BOX 2022年
国内販売台数 **No.1**[※]

※2022年1月～2022年12月の登録車を含む
国内新車販売台数第1位(全軽自協・自販連調べ)

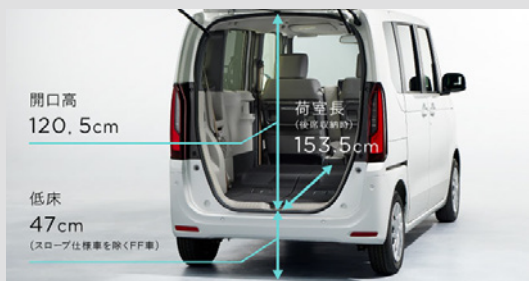


使い勝手 低床で広い荷室空間。たくさん積めて、積み降ろしも楽々。幅広い業務に対応。

低い床、高い天井。ウォークインできる荷室

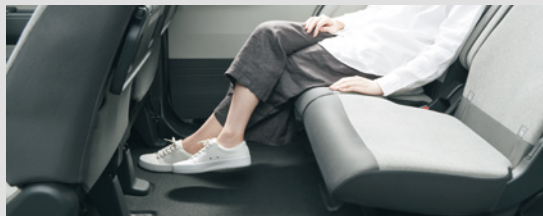
重い荷物も、積みやすく降ろしやすい。

数値・Photo・N-BOX (FF)



お客様を快適にお迎えするための室内空間

足を組んでもゆったりと座れます。

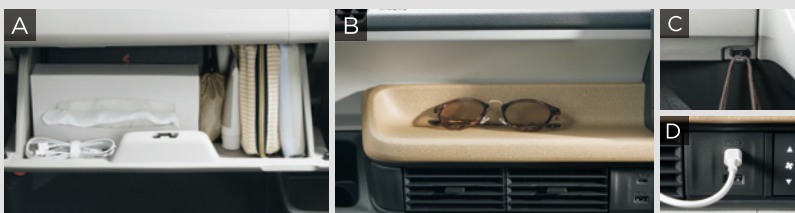


細いフロントピラーの“すっきり視界”



死角が少ないフロントピラーにより、安心して運転できる、スッキリとした前方視界を確保しています。

仕事の効率化に貢献。アイテムを快適に収納できる工夫が満載



- A 車検証入れとボックスティッシュを入れても余裕の容量をもつ大型グローブボックス。
- B インパネ上部にはトレーを配置。お気に入りの小物を置きたくなる「見せる収納」です。
- C 手さげ袋を掛けられるコンビニックを前席の助手席側に配置。
- D 急速充電が可能なUSBジャック (Type-C)^{※1}

※1: ジャック1個付。ガヤズナビゲーション装着時には、音楽・映像メディアと接続可能なUSBジャック (Type-A) が1個追加されます。(写真はガヤズナビゲーション装着時)



環境 大空間の高い積載能力と低燃費を両立。ランニングコストを抑え、多様な業務で活躍します。

環境性能に優れたクルマの導入でコスト削減

使い勝手に優れたN-BOX。燃費の良さも選ばれる理由です。



* 燃料消費率★

21.6 km/L

・数値はN-BOX (FF)



2030年度燃費基準75%達成車

- N-BOX (FF)
- N-BOX CUSTOM (FF)
- N-BOX スロープ (FF)
- N-BOX CUSTOM スロープ (FF)



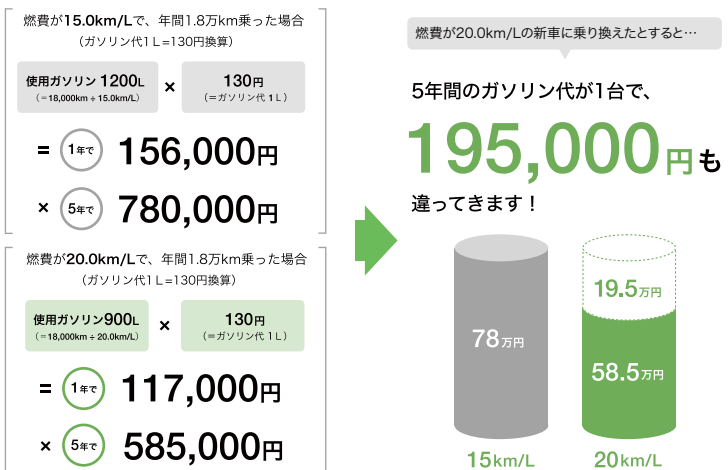
平成30年排出ガス基準75%低減レベル認定車

■ 全タイプ

*WLTCモード: 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。

★燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

燃費が5.0km/L変わると5年間のランニングコストがこんなに違う!



※燃費の数値は特定の車両の燃費 (WLTC) を指すものではありません。



安全

Honda SENSINGをはじめとする先進の安全技術で大切な従業員の皆様の運転をサポート。当ページではその一部機能をご紹介します。

Honda SENSING

<p>ぶつからないために</p> <p>衝突軽減ブレーキ (CMBS)</p>	<p>歩行者に配慮</p> <p>歩行者事故低減ステアリング</p>	<p>適切な車間距離を保つために</p> <p>渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール (ACC)</p>
<p>飛び出さないために</p> <p>誤発進抑制機能※1</p>	<p>不意の後退を防ぐために</p> <p>後方誤発進抑制機能※1</p>	<p>ぶつからないために</p> <p>近距離衝突軽減ブレーキ※1</p>
		<p>踏み間違いに備えるために</p> <p>急アクセル抑制機能※2</p>

※1:「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせて「踏み間違い衝突軽減システム」と呼びます。
 ※2:工場出荷時は機能オフの設定です。オンするには別途販売会社の専用機器によるセッティング作業が必要です。別途セットアップ費用 (ディーラーオプション)が必要となります。

オートブレーキホールド機能



■シートベルトを着用し、エンジンを始動してからスイッチを押すと、機能がオンになります。

停車中にブレーキペダルから足を離しても、停車状態が続くオートブレーキホールド機能。アクセルを踏めば自動解除され、再発進できます。

電子制御パーキングブレーキ



■作動・解除時に後輪付近からモーター音が聞こえますが異常ではありません。また、アクセルペダルによる自動解除は、運転席のシートベルトが着用されている時のみ作動します。

スイッチ操作で作動。発進時にアクセルペダルを踏めば、自動的に解除されます。

N-BOXはサポカーS(ワイド)に該当しています



セーフティ・サポートカー (略称: サポカー) は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。自動 (衝突軽減) ブレーキなどの安全運転を支援する装置などを搭載し、ドライバーの安全運転を支援します。さらに、N-BOXは衝突被害軽減ブレーキ (AEBS) の性能認定車です。

■安全運転を支援する装置は、あくまで運転を支援する機能です。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。

おすすめタイプ

おすすめ No.1

N-BOX
 全国メーカー希望小売価格 (消費税10%込み)
1,648,900円※
 (消費税抜き 1,499,000円)

駆動方式	型式	トランスミッション
FF	6BA-JF5 0.66L NA(FF)	CVT

おすすめ No.2

N-BOX
 全国メーカー希望小売価格 (消費税10%込み)
1,782,000円※
 (消費税抜き 1,620,000円)

駆動方式	型式	トランスミッション
4WD	6BA-JF6 0.66L NA(4WD)	CVT

【主要装備】 Honda SENSING、Honda CONNECT for Gathers +ナビ装着用スペシャルパッケージ、パワースライドドア (リア左側)、インパネトレー、コンビニフック (助手席フロント)、電動格納式リモコンドアミラー、フルLEDリアコンビネーションランプ、アウトードアハンドル、リアライセンスガーニッシュ

※価格はすべて消費税 (10%) 込みの価格です。掲載価格には、保険料、税金 (消費税除く)、登録等に伴う諸費用、リサイクル料金は含まれておりません。価格には有料色の価格は含まれておりません。

おすすめの純正アクセサリ

- オートリトラミラー ドアロック連動タイプ**
 Hondaスマートキーでの施錠・解錠に連動してドアミラーを自動で格納・展開。人やモノとの接触を回避します。

11,000円 (消費税10%抜き 10,000円)
 ※マルチインフォメーションディスプレイで、オートリトラミラー機能をON/OFF設定できます。
- フロアカーペットマット (プレミアムタイプ) エクステンションマット (運転席) 付/ブラック/消臭・抗菌加工/ヒールパッド付/フロント・リアセット [意匠登録出願済]**

27,500円 (消費税10%抜き 25,000円)
- スマートレスキュー**

6,050円 (消費税10%抜き 5,500円)
 取付位置: 運転席グラブレル
 ※写真は他車種の装着例です。

価格は取付費を含まないメーカー希望小売価格 (消費税10%込み) で参考価格です。取付費等につきましては、販売会社にお問い合わせください。モデル/タイプ等により取付可否、価格、取付工費が異なる場合があります。詳しくはスタッフにお問い合わせください。

■作動条件や検知する障害物は車種により異なる場合があります。■衝突軽減ブレーキ (CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車に対して衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに作動し、停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h〜約40km/hで走行中、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測したときに、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断したとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。■渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール (ACC) は、先行車がいる場合、停車中から作動し、先行車がいらない場合は、約30km/h以上で走行中に作動します。先行車に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行中、自車のほぼ真正面の近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、エンジン出力を抑制し、急な発進を防止します。■後方誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で後退中、自車のほぼ真後ろの近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときエンジン出力を抑制し、急な後退を防止します。■近距離衝突軽減ブレーキは、約2km/h〜約10km/hで走行中、壁などの障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、ブレーキを制御し停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■急アクセル抑制機能は、停止中や約30km/h以下で走行中に、踏み間違いと思われる急なアクセルペダル操作であるとシステムが判断したときエンジン出力を抑制し、急な加速を抑制します。交差点や本線への合流など、加速が必要な状況を想定した、ウインカー操作中と解除後約2秒間、アクセルペダルを大きく踏み込むことが想定される登坂路、加速のためのブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み換え直後約2秒間は作動しません。